

平成26年度

郡山女子大学「生涯学習講座」開講のお知らせ

女性を対象とした郡山女子大学・
郡山女子大学短期大学部の公開授業32講座
[学ぶことは生涯の仕業一講座開講30年一]

■受付期間 ※窓口は平日のみとなります。

前期・通年:3月24日(月)～4月4日(金)
後 期:9月1日(月)～9月5日(金)

受講料 1単位につき 講義・演習の科目 8,000円
実験・実習・実技の科目 15,000円～16,000円
※ご希望の「講義」が1科目2単位のものであれば16,000円となります。
※このほかに教科書代・材料費等がかかることがありますので、予めご了承ください。
目安といたしましては、約5,000円～10,000円くらいになります。

郡山女子大学 教務部

TEL(932)4848代／FAX(933)1957

〈通年開講科目〉

油彩画Ⅰ 油彩画をとおして感性を磨く

油彩画(油絵)は西洋画の中心をなす優れた油彩絵具によるもので、自由な表現が可能。基礎的な技法の理解と研究から個人の能力を引き出し、表現力及び美術的感性を磨きます。(浅野 章教授)
火 10:30～12:00(¥30,000)

生活学的経済論 震災後の新しい経済・新しい社会

震災以降、日本人は新しい経済、新しい幸せのかたちを模索しています。「脱システム」「脱成長主義」「ソーシャルスタイル」「シェア(共有)」などをキーワードに考えます。(石田 智宏准教授)
木 8:50～10:20(¥16,000)

教育心理 心理学から教育を探る

よりよい教育を目指すために、心理学の観点から子どもを理解するための講義です。乳幼児期の発達、青年期の心の特徴、発達障害、教育相談など幅広く学びます。(垣花 真一郎准教授・教育学博士)
火 16:10～17:40(¥16,000)

情報コミュニケーション論 話し方を学ぶ

情報社会の中で、コミュニケーション能力の重要性が高まっています。良き人間関係を構築するために欠かせない適切で魅力的な言葉とは…コミュニケーションの基本を学びます。(奥秋 和夫准教授)
水 8:50～10:20(¥16,000)

社会福祉法制 鋭い人権感覚を身につける

国民の基本的人権は憲法によって保障されていること、国家と国民との関係を理解する行政法規、市民同士の関係を規律する民法等を学びます。(渡邊 英勝講師)
月 14:30～16:00(¥16,000)

日本文化史 江戸時代の暮らしと女性

絵巻物・浮世絵(錦絵)・図絵・版本挿絵などに描かれた図像を解説しながら、女性の生涯を考えてみる。講義内容に応じて、県内の事例も紹介する。(阿部 俊夫准教授)
月 12:50～14:20(¥16,000)

〈後期開講科目〉

人間環境学 環境問題を知る

環境問題の原点である水俣病、放射線汚染、環境中での分解が難しい有機塩素系化合物ダイオキシンや水道水中のトリハロメタン、妊娠と医薬品についてサリドマイドを例として講義します。(影山 志保講師・家政学博士)
水 8:50～10:20(¥16,000)

東アジアの思想と宗教 文明史入門

日本文化の中に深く浸透している仏教の実態、激しい文化摩擦・変容を繰り返しながら展開した仏教伝播の過程を思想・宗教史の立場から考察します。(福島 寅太郎(何燕生)教授・文学博士)
金 12:50～14:20(¥16,000)



安藤扶美恵さん

年齢に関わりなく学びと向き合い、自分を磨く生涯学習。地域の方の生涯学習のため、郡山女子

来年も「油彩画」の学習を継続するつもりです。う。「キャンパスに向かうと、ほかのことを全部忘れるほど集中できます。奥深い油彩画の魅力をもっと知りたいです。ね」と意欲十分です。

油彩画を通して
考え方が広がりました

「生涯学習講座」で自分磨きを

大学では講座の一部を一般に開放しています。日々子育てに奮闘している安藤扶美恵さんも「生涯学習講座」で学ぶ1人。今年度は「油彩画」と「CGアート」を学びました。

開講科目には、■通年(一年間)、■前期(4月より半年間)、■後期(9月より半年間)のものがあります。受講を希望される科目の開講時期については左記までお問い合わせください。なお、この時間と曜日は3月3日(月)現在のものです。変更になる場合がありますので、お申し込みの際にご確認ください。
E-mail admin@koriyama-kgc.ac.jp

〈前期開講科目〉

宗教学的人間論 人間にとっての宗教の意義

宗教とは何か。生活禅、アニメやマンガなどを題材に、学問対象としての宗教を考察します。(福島 寅太郎(何燕生)教授・文学博士)
金 10:30～12:00(¥16,000)

国語表現法 文学の表現法を通して文章の骨格を学ぶ

文字使いは、各々の趣味と感受性の体系に基づきます。日本と英国の文学表現法に多く触れ文章の骨格を理解し、文章力を身につけます。(真船 均講師)
月 8:50～10:20(¥32,000)
水 14:30～16:00 ※週2回の実施です。

食品栄養学 食と健康の係わり

食品栄養学においては、健康なくらしをするために必要な食と栄養の基礎を学びます。食品中の主な栄養素とそれらを摂取したときの体内代謝を取り上げます。(藤本 健四郎教授・農学博士)
火 10:30～12:00(¥16,000)

CGアートⅠ コンピュータで造形表現

コンピュータによる視覚造形表現について演習形式で学習します。コンピュータとその周辺機器及びグラフィックソフトウェアの基本操作、表現技法を目指します。(小松 太志講師)
火 8:50～10:20(¥15,000)

保育の心理学Ⅰ 理論を見据えた保育とは

子どもの望ましい発達とは?望ましい自己概念形成に必要なアプローチとは?主にこの2点を、これから保育の現場に立つ学生と考えていきます。(折笠 国康講師)
月 10:30～12:00(¥16,000)
火 10:30～12:00 ※どちらかを選んでください。

西洋美術史 印象派の絵画と服飾

国立新美術館で「オルセー美術館展 印象派の誕生」が開かれるのを記念して、印象派の絵画と、そこに描かれたファッションを読み解きます。(齋藤 美保子教授)
月 8:50～10:20(¥16,000)

美学 東西の近代美学

明治時代の洋画家、浅井忠の美術、デザイン、文章を手がかりにして、十九世紀から二十世紀にかけての、日本と西洋の美学を多角的に検討します。(齋藤 美保子教授)
水 10:30～12:00(¥16,000)

考古学Ⅰ 土の中に埋もれた歴史

考古学は人類の制作・使用したモノをもとに過去の人間の行動を研究する学問です。考古学の定義・目的・研究範囲・資料・研究方法について、考古学の基礎を学びます。(曾田 容弘准教授)
木 8:50～10:20(¥16,000)

音楽鑑賞 音楽をより楽しむために

音楽鑑賞では古典から現代に至る様々な分野の音楽を鑑賞する事により、時代性や地域性、作者の人生観や個性、また作品の音楽史的な役割や意義について考えます。(岡部 富士夫教授)
月 10:20～12:00(¥32,000)

臨床栄養学「食」の持つ意義の深さを考える

食生活の乱れにより多くの病気が発症することが知られています。この授業では、様々な疾病をとりあげ、病気との関連性と栄養管理の重要性について解説します。(小林 澄枝講師)
水 10:30～12:00(¥16,000)

住生活概論 快適な住生活の創造

住まいの変遷や機能、今日的課題(デザイン・UD・環境等)について学習します。次に、スケールを意識しながら実際に建築製図を描き、住宅設計の基礎的知識を把握します。(阿部 恵利子講師・家政学博士)
月 12:50～14:20(¥16,000)

生化学 科学の目でみた生命活動

生物は、代謝と呼ぶ化学反応で物質を変化させて生命活動を営んでいます。生命活動を化学の目で理解することを目指して、生体物質の役割やエネルギー代謝について学びます。(坂上 茂教授・農学博士)
月 8:50～10:20(¥16,000)

保育原理 保育の本質を求めて

幼子を育てることは、人としての原点を育むことです。では、子どもをどうみたら良いでしょうか?今日の課題を見据えつつ、子どもとともに生きる保育を考えていきます。(山上 裕子講師・教育学博士)
木 12:50～14:20(¥16,000)
14:30～16:00 ※どちらかを選んでください。

民俗学Ⅰ 日本人らしさとは何か

個人ではない日本人が全体として創りあげてきた民俗(暮らし)を材料に日本人らしさを考えます。具体的には人生の節目に行われる人生儀礼(通過儀礼)を取り上げます。(野沢 謙治教授)
金 12:50～14:20(¥16,000)

応用栄養学Ⅰ 心身の健康と食生活

人の一生の各時期(ライフステージ)には、生理的に大きな違いがあります。各時期の科学的な栄養管理の知識を身につけ、妊娠期および成長期の適正な食生活について考えます。(水野 時子准教授・管理栄養士)
火 10:30～12:00(¥16,000)

障がい児保育 子どもの心に寄り添った保育を目指して

昨今、保育現場には、さまざまな支援を必要とする子どもたちが存在しています。彼らの支援に有効な知識、技能を学びながら、目ざすべき保育の在り方について考えます。(小林 徹准教授・教育情報学博士)
水 14:30～16:00(¥16,000)
16:10～17:40 ※どちらかを選んでください。

彫刻Ⅰ 彫刻表現の基礎

塑像による頭像制作、テラコッタ作品制作、木彫作品制作などを通して、彫刻の基礎的方法、表現の取得を目指します。(黒沼 令講師)
月 10:30～12:00(¥30,000)

生活化学 化学の基礎と日常

本教科は、日常と関連した現象についての考察を取り入れつつ、化学の基礎を学習する教科です。化学の基礎概念は、物質とは何かを理解し環境や健康を考える基礎となります。(関口 晋准教授・農学博士)
火 12:50～14:20(¥16,000)

衣生活文化論 着ることの意味を知る

衣服は人間存在と深く結びついた文化のひとつであり、様々な心情が託されてきました。本講座では、衣服の流行や制度と慣習等を取り上げ、衣服と人の心の関わりを探ります。(田辺 真弓教授)
火 10:30～12:00(¥16,000)

染色実習Ⅰ 自然を染める

生活現場での造形表現を試み、染色の基礎的な知識を得ます。ここでは自然界から暮らしを彩る、染色技術を習得することを目的とし、作業のプロセスを大切に実習を行います。(太宰 待子准教授)
金 8:50～12:00(¥15,000)

栄養学各論Ⅱ 健康で豊かな食生活

近年、生活習慣病の予備軍が年々増加しています。健康寿命を延伸することを目的とし、加齢による人体機能の変化を理解し成人期・高齢期の食のあり方を考えます。(水野 時子准教授・管理栄養士)
木 8:50～10:20(¥16,000)

国際文化史 大学の西洋史概説入門編

現代文明の共通要素として大きな意味をもつヨーロッパ文化(欧米文化)の形成について、主に中世ヨーロッパ社会を対象に考察します。(桑野 聡准教授)
金 10:30～12:00(¥16,000)

生理学 人体の機能を知る

人体を構成している組織や器官、たとえば血液、心臓、脳、腎臓などの正常な機能について体系的に学習します。生体のもつ恒常性(ホメオスタシス)の維持について理解を深めます。(紺野 信弘教授・博士(医学)・農学博士)
木 10:30～12:00(¥16,000)

染色実習Ⅱ 自然を染める

前期に引き続き、実習を行います。(太宰 待子 准教授)
木 8:50～12:00(¥15,000)